

(1) 技術・情報交流

a. シンポジウム

日時・場所	内容等
	未開催

b. 月例フォーラム

回	日時・場所	講師・演題
第346回	R2. 8. 28 (金) 14:00~17:00 場所: オンライン 参加者数: 54名	<p>テーマ: 産学連携と大学発ベンチャー</p> <ul style="list-style-type: none"> ○技術検討会 事業報告 <ul style="list-style-type: none"> ・技術検討会終了報告 「アグリIoTプラス」 熊本高専 企画運営部 教授 小山 善文 氏 ・新規技術検討会紹介 「ロボット活用」 熊本県産業技術センター ものづくり室 道野 隆二 氏 ○新規企業会員 事業紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社マイスティア プロダクションサポート事業部 スマート生産創造推進部 部長 松隈 秀実 氏 ○講演 <ul style="list-style-type: none"> ■「ニッチなニーズからシーズ、そしてベンチャーへ」 熊本大学 大学院先端技術研究部 准教授 小林 牧子 氏 ■「産学連携・医工連携によるがん診断デバイスの開発」 熊本大学 大学院先端科学研究部 准教授 中島 雄太 氏 ■「崇城大学学生ベンチャー ㈱Ciamoの紹介と光合成細菌の農業利用について」 崇城大学 大学院 工学研究科 教授 宮坂 均 氏 株式会社Ciamo 代表取締役 古賀 碧 氏 (崇城大学大学院工学研究科博士後期課程) ■「次世代タンパク質としての昆虫食への取り組み: 生態系の最下層から上位層の生物に窒素源を提供し続けているシロアリのはなし」 熊本高等専門学校 生物化学システム工学科 准教授 木原 久美子 氏
第347回	R2. 11. 13(金) 14:00~16:30 場所: オンライン 参加者数: 54名	<p>テーマ: 熊本の地域課題を産学官で考える</p> <p>第Ⅰ部 (特別講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「水害体験から再建へ。そして川との共存の在り方を考える」 人吉旅館 女将 堀尾 里美 氏 ②「工業高校生による災害復旧活動」 球磨工業高校 校長 原田 茂 氏 <p>第Ⅱ部 (講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「7月豪雨後の人吉地区の国登録有形文化財の旅館復興に携わって」 熊本高専八代キャンパス建築社会デザイン工学科 特命客員教授 磯田 節子 氏 ②「『令和2年7月豪雨』災害から学ぶ防災～球磨川との向き合い方～」 熊本高専八代キャンパス建築社会デザイン工学科 教授 岩坪 要 氏 ③「7月豪雨の八代市坂本町の歴史的建造物の被害状況」 熊本高専八代キャンパス建築社会デザイン工学科 教授 森山 学 氏
第348回	R3. 3. 1(月) 13:20~17:30 場所: オンライン 参加者数: 85名	<p>テーマ: EV技術による熊本の交通の低炭素化と地域活性化へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 普及型EVバス技術開発について 熊本大学大学院先端科学研究部 シニア准教授 松田 俊郎 氏 ② 熊本発EVバスに関する熊本市の取組について 熊本市環境政策課温暖化・エネルギー対策室 主幹 山口 岳史 氏 ③ 熊本発EVバス技術の事業化について (株)イズミ車体製作所 常務取締役 宮崎 信也 氏 ④ ビッグデータを活用したバス遅延予測 熊本大学大学院先端科学研究部 准教授 尼崎 太樹 氏 ⑤ エネルギーエレクトロニクス技術から見たサービスを提供するモビリティ社会 崇城大学 情報学部 准教授 西嶋 仁浩 氏 ⑥ 太陽光発電と超小型EV、グリーンモビリティを活用した地方創生の取り組み Tプラン (株) 取締役 営業部長 佐藤 篤司 氏
		<p>テーマ: xRが創り出す現実社会の最前線 ~仮想とリアルの融合</p> <p>→次年度のフォーラムに振替え (実機でのデモなどオンラインに不向きであるため)</p>

c. R I S T 共催事業

熊志会と若手研究者交流会

日時・場所	内 容 等
※熊志会と若手研究者交流会との共催	未開催

熊本大学・崇城大学特別講義「組み込みシステム関連産業概論」

日時・場所	内 容 等
※セミコンIT産業部会（熊本県産業振興協議会）との共催	未開催